

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 25. 4. 2 第 183 回国会第 2 号

4 月 2 日（火）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件

・岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、江渡防衛副大臣、左藤防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中 谷 元君（自民）

- ・小野寺防衛大臣及び岸田外務大臣に、大臣在任中に是非とも取り組みたい課題をひとつ挙げていただきたい。また、岸田外務大臣に、中国との関係改善に向けた抱負について伺いたい。
- ・テロ事件等について、警察による対処から自衛隊による対処をシームレスに移行させるため、自衛隊の警護出動の対象を自衛隊及び在日米軍の施設に限定せず、原発にも拡大するべきであると考えているが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・在アルジェリア邦人に対するテロ事件後、情報収集や分析体制などの確立のため、外務省は防衛省との間でどのような連携強化を図ったのか、岸田外務大臣に伺いたい。

### 中 山 泰 秀君（自民）

- ・東日本大震災等の際に医療支援を申し出たイスラエルが、国内法の規制により実際に支援活動を開始するまでに長期間を要したことを踏まえ、平時と異なる緊急事態の際の規制の基準を策定しておくべきと考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・政府が提出を検討している秘密保全法案においては、米国の情報自由法（FOIA：Freedom of Information Act）に倣い、将来情報を公開することを前提に、秘密の区分や秘密とする期間を設定することが重要であると考えているが、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・被爆地である広島に国際機関を誘致することは、他国の我が国への侵略を抑止する観点からも、意義があると考えているが、国際機関の誘致に対する岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### 長 島 昭 久君（民主）

- ・在アルジェリア邦人に対するテロ事件を踏まえ、在外公館の警備体制の強化について、どのような姿勢で臨むのか、岸田外務大臣に伺いたい。
- ・在アルジェリア邦人に対するテロ事件を受け、自由民主

党及び公明党の与党プロジェクトチームが、自衛隊による在外邦人等の陸上輸送を可能にするための自衛隊法改正を提言しているが、任務遂行のための武器使用を認めなければ、この任務を遂行できないのではないのか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

- ・現在進められている防衛計画の大綱の見直しにおいては、南西方面の防衛について、どこに力点を置いて、どういった機能を強化しようと考えているのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい

### 伊 佐 進 一君（公明）

- ・周辺海域での活動の活発化や安全保障に関する不透明性が、我が国を含む国際社会の懸念事項となっている中国の状況についての小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・日中間の緊急連絡体制として、防衛当局間だけでなく中国の海上法執行機関を含めた多層的な「海上連絡メカニズム」を構築する必要性について、岸田外務大臣及び小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・米国防予算の削減及び中東情勢の悪化により、米軍のアジア太平洋へのリバランスが進展しなかった場合、我が国の防衛政策にどのように影響すると考えているのか、防衛省の見解を伺いたい。

### 阪 口 直 人君（維新）

- ・本年 1 月に発生した中国艦艇による海上自衛隊護衛艦等への火器管制レーダーの照射事案について、中国側は事実関係を否定しているが、防衛省及び外務省は、本事案について、どのような対応を行ったか、小野寺防衛大臣及び岸田外務大臣に伺いたい。
- ・我が国周辺国の公船から発艦したヘリコプターが尖閣諸島に着陸した場合や武装した漁民が尖閣諸島に上陸した場合に、我が国は現行法制上どのような対応をとり得るか、防衛省に伺いたい。また、我が国領域の保全や警備のための包括的な法整備の必要性について、小野寺防衛大臣及び岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国の国内企業の F-35 の製造等への参画は、どのよう

な経緯で行われたのか、防衛省に伺いたい。

## 中丸 啓君（維新）

- ・尖閣諸島に対して近隣諸国による不法上陸が予想される場合の具体的な対応策としては何が考えられるか、岸田外務大臣に伺いたい。
- ・米国のいわゆる「核の傘」の有効性及びアジア・太平洋地域における核兵器の脅威に対して、岸田外務大臣はどのような認識を持っているか。
- ・朝鮮半島有事発生の可能性についての小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。また、朝鮮半島有事が発生した場合の日韓連携のシミュレーションは行っているのか、同大臣に伺いたい。

## 畠中光成君（みんな）

- ・東日本大震災への自衛隊の対応の中で、海上から陸へのアクセスに課題があったと考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。また、福島原発事故を受け、自衛隊に「化学・生物・放射性物質・核及び高性能爆発物（CBRNE）」事案に対処する部隊の創設が必要と考えるが、防衛省での検討状況について併せて伺いたい。
- ・次期Xバンド通信衛星が攻撃を受けた場合、自衛権を発動できるのか、また、当該通信衛星への攻撃が日米安全保障条約第5条の対象となるのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・今後、日米同盟に関し、具体的に何をどのように深化・強化していくのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

## 赤嶺政賢君（共産）

- ・地方自治法上の法定受託事務である公有水面の埋立承認について、都道府県知事が不承認とした場合、国が是正の指示を行うことができる場合について国土交通省の見解を伺いたい。また、過去に法定受託事務について国からの是正の指示が出されたことがあるか、併せて同省に伺いたい。
- ・本年3月22日、防衛省は、普天間飛行場代替施設建設事業に関し、公有水面埋立法に基づき公有水面埋立承認願書を沖縄県知事に提出したが、埋立ての対象となっている辺野古住民の理解は得られているか考えているか、小

野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・2012年12月19日に提出した「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書の補正後の環境影響評価書」において、事業実施の総合評価にあった「環境保全上、特段の支障はない」とした補正前の文言を削除し理由について、防衛省の見解を伺いたい。

## 玉城 デニー君（生活）

- ・小野寺防衛大臣は、3月15日の本委員会で述べた所信において、「日米両国間のみならず」、「我が国と基本的な価値及び安全保障上の利益を共有する関係諸国との防衛協力・交流を促進する」としているが、その関係諸国とはどの国を指し、安全保障上共有する利益とは何か、同大臣に伺いたい。
- ・米国政府は米議会から歳出削減を求められているが、米国の財政状況が日米安全保障体制に及ぼす影響について、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・第2次安倍内閣になって初めて開催された3月19日の沖縄政策協議会において、「沖縄振興部会」と「米軍基地負担軽減部会」を統合した「小委員会」が設置されたことについて、菅内閣官房長官が、同日の記者会見で「振興と基地負担軽減は別だという建前論だったのではないかと思います」と述べたことは、沖縄振興と基地問題をリンクさせるものであり、不適切な発言ではないのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

## 照屋 寛徳君（社民）

- ・陸上自衛隊真駒内駐屯地における徒手格闘訓練中の自衛隊員の死亡事案に対し、教官が安全配慮を怠ったとして、国に損害賠償を命ずる3月29日の札幌地裁の判決を踏まえ、小野寺防衛大臣は遺族に謝罪する意思はあるのか、伺いたい。
- ・普天間飛行場代替施設建設事業に関し、公有水面埋立法に基づき公有水面埋立承認願書を沖縄県知事に提出したが、沖縄県知事は承認すると考えているのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・政府は4月28日に「主権回復の日」の式典を開催するが、1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約の発効によって、完全に主権を回復したと言えるのか、岸田外務大臣の認識を伺いたい。